

ヒガンバナ科 ネギ属

ノビル (野蒜)

Allium macrostemon Bunge

自生環境

野原、道ばた、公園 など

原産地

日本在来

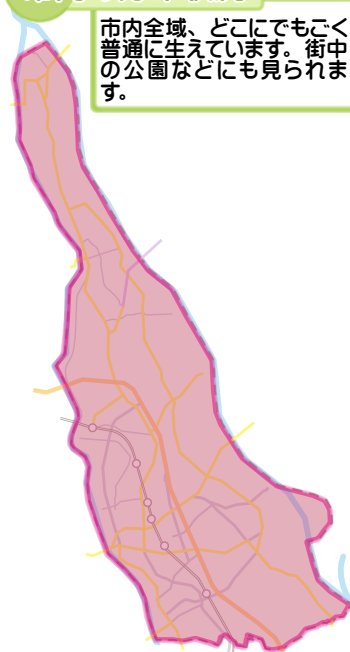
生育を脅かす要因

(今のところ特になし)

市内全域にごく普通で、今のところ絶滅の心配はありません。しかし目の敵にしすぎるのは考えもの。地域に咲く野の花として、やさしく見守る気持ちを大切にしたいところです。

市内の分布状況

市内全域、どこにでもごく普通に生えています。街中の公園などにも見られます。

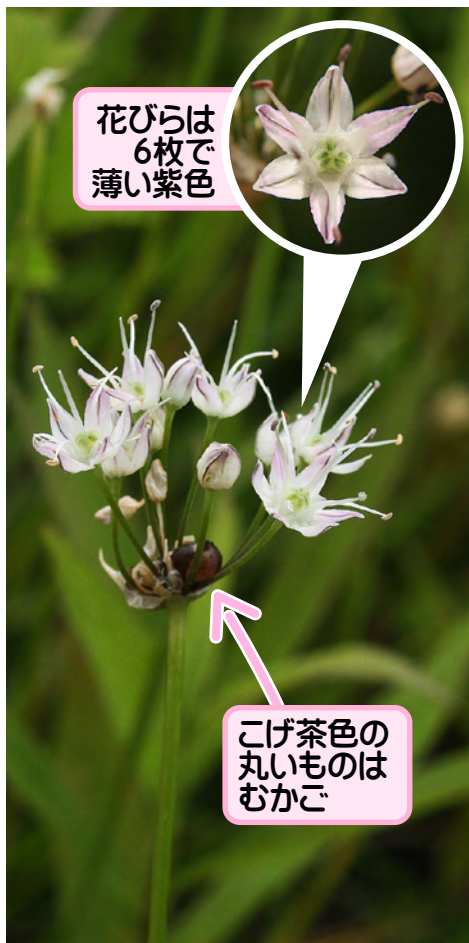


特徴

- ☆ 野原や道ばた、公園の木陰など、身近な場所にごく普通に生える多年草です。地中に白くて丸いラッキョウのようなもの(鱗茎)があり、この部分が食用になります。ネギの仲間、全草に特有のネギのにおいがあります。
- ☆ 初夏に花茎を長く伸ばし、その先につぼみがつきます。つぼみは初め総苞と呼ばれるものに包まれています。この総苞はやがて破れて、薄紫色の花を咲かせます。ただ開花率は低く、つぼみの代わりにむかごがつくこともしばしばです。
- ☆ 花が咲いてもほとんど結実しません。地中で新しい鱗茎が次々とつづられ、それで増えていきます。また、初夏に花茎の先についたむかごも、ポロっと落ちて発芽し、新しい株になります。

誤食事故の多い山菜

身近な場所にたくさん生えていて、ピリツとした辛みとネギ属特有の風味が魅力のノビル。春になると、ノビル掘りをしている人の姿もよく見かけます。ところが、スイセンやヒガンバナ、タマスダレなど、強い毒をもつ球根植物が野生化して、ノビルに混じって生えていることがあり、混入による中毒事故が後を絶ちません。採集後にしっかり確認し、自信がないものは口にしないようにしましょう。



わびちゃんねる 千葉県野田市の植物を動画で紹介!

<https://www.youtube.com/channel/UCJvrXBjegnWATWd-UZsNzCA>

